

マタイ 10

キリストの花嫁として

マタイ福音書5章27～32節

山上の説教③ 姦淫と離縁

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 姦淫 5:27~29

II. 離縁 5:30~32

III. 靈的姦淫

IV. まとめと適用

キリストの花嫁として





0. イントロダクション

ガリラヤ湖

メシアによる宣教の開始

■ マタイ福音書4:17

この時からイエスは宣教を開始し、

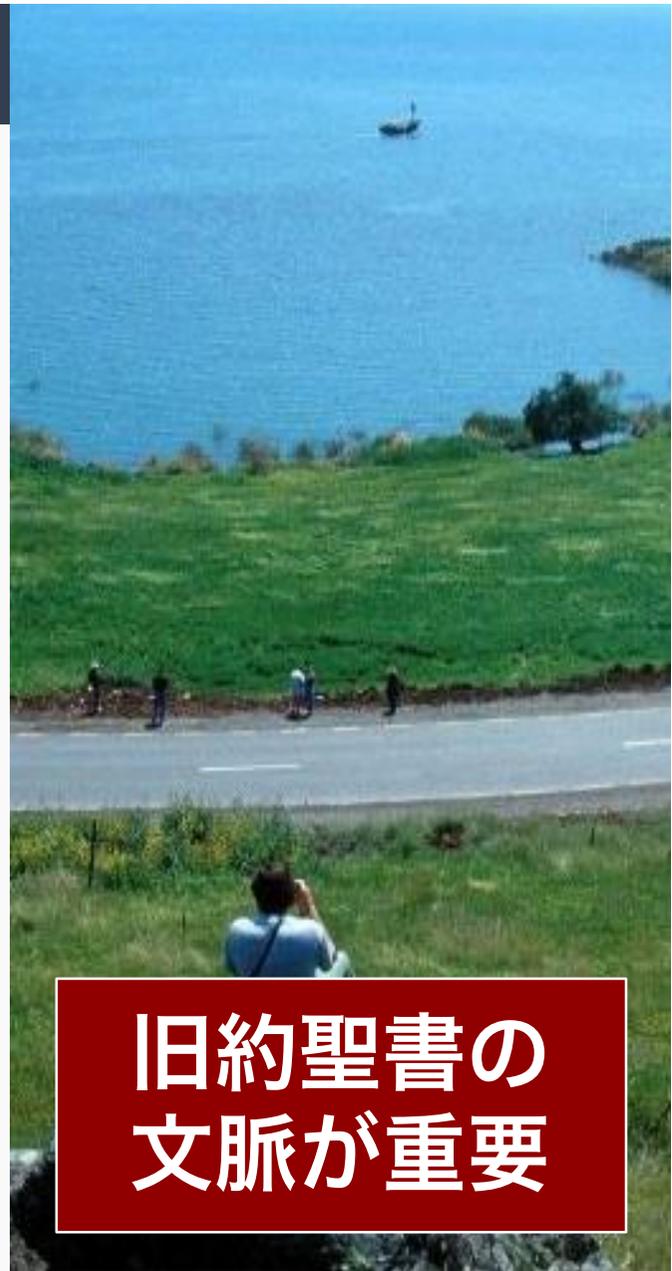
「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」

と言われた。

**イスラエルがメシアを受け入れれば
神の王国が実現する!!**

山上の説教とは？ マタイ5～7章

- ガリラヤ湖畔で語られた、イエスの**説教集**。
→ 丘の上、もしくは湖面(ルカ6章)から
- パリサイ派の「**口伝律法**」の間違いを指摘。
神の「**律法**」の真の意味と適用を教えられた。
→ 十字架以前のこの時点は、**律法の時代**
- 「山上の説教(垂訓)」とは、
→ メシアによる直々の**律法解釈!!**
→ **イスラエル**に向けて語られた



旧約聖書の
文脈が重要

律法の成就のためにメシアは来られた

■ マタイ5:17~18

わたしが律法や預言者を廃棄するために来た、と思っ
てはなりません。廃棄するためではなく
成就するために来たのです。

まことに、あなたがたに言います。
天地が消え去るまで、律法の一点一画も決して
消え去ることはありません。すべてが実現します。

メシアが、律法を成就、神の計画を完遂

マタイ福音書5章21～26節

■ マタイ5:27～28

『姦淫してはならない』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。

しかし、わたしはあなたがたに言います。情欲を抱いて女を見る者はだれでも、心の中ですでに姦淫を犯したのです。

■ マタイ5:29～30

もし右の目があなたをつまづかせるなら、えぐり出して捨てなさい。からだの一部を失っても、全身がゲヘナに投げ込まれないほうがよいのです。

もし右の手があなたをつまづかせるなら、切って捨てなさい。からだの一部を失っても、全身がゲヘナに落ちないほうがよいのです。

■マタイ5:31～32

また『妻を離縁する者は離縁状を与えよ』と言われていました。

しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも、淫らな行い以外の理由で自分の妻を離縁する者は、妻に姦淫を犯させることになります。また、離縁された女と結婚すれば、姦淫を犯すことになるのです。

メシアの律法解釈が厳しい理由

- 兄弟を罵る罪は、永遠の裁きに至る罪
- 情欲の目を向ければ、姦淫同然の罪
- ➔ 一体、**誰が**、律法を守り通せるのか？

メシアに頼るしかない信仰へと導く!!



Ⅰ. 姦淫 マタイ5章27～29節

ガリラヤ湖畔

訓戒 律法の戒め マタイ5:27

『姦淫してはならない』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。

＊十戒・出20:14

姦淫…他人の夫や妻と性的関係を持つこと

■律法の定める罰則 レビ20:10

「人が他人の妻と姦淫したなら、すなわち自分の隣人の妻と姦淫したなら、その姦淫した男も女も必ず殺されなければならない。」



訓戒 メシアの釈義 マタイ5:28

しかし、わたしはあなたがたに言います。情欲を抱いて女を見る者はだれでも、心の中すでに姦淫を犯したのです。

■ メシアによる律法解釈
(他人の夫や妻に)

情欲を抱く = 姦淫 = 死罪



訓戒 右の目 マタイ5:29

もし右の目*があなたをつまづかせるなら、えぐり出して捨てなさい。からだの一部を失っても、全身がゲヘナ*に投げ込まれないほうがよいのです。

*聖書的には利き目(1サム11:2,ゼカ11:17)

*永遠の火の池、最終的裁きの地、地獄

■ 姦淫(情欲を抱く) → 永遠の滅びにいたる罪

■ 永遠の滅びを免れられるなら、体の一部を失ってもどうということはない。

→ それほどに苦しく悲惨なのが、ゲヘナ



訓戒 右の手 マタイ5:30

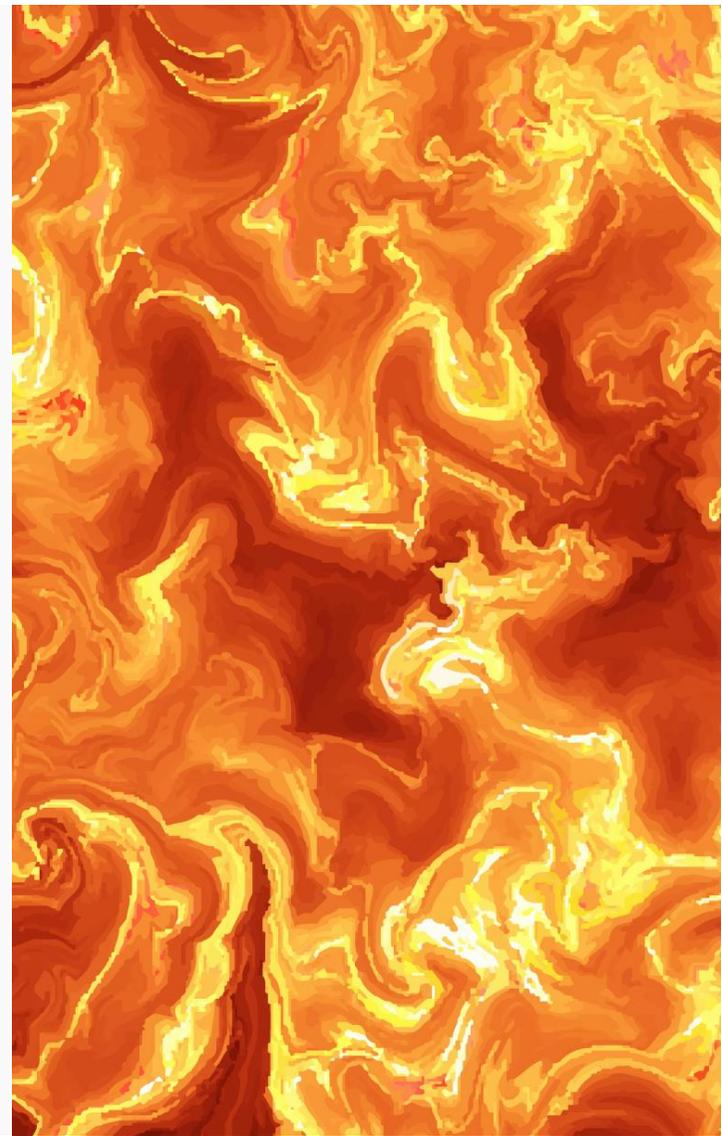
もし右の手*があなたをつまづかせるなら、切って捨てなさい。からだの一部を失っても、全身がゲヘナに落ちないほうがよいのです。

*権威を示す

…ヤコブは、エフライムに右手を(創48:14)

■イスラエルの解放の歌(出15:6)

「【主】よ、あなたの右の手は力に輝き、
【主】よ、あなたの右の手は敵を打ち砕く。」



世の力や権威を失ってでも、神の国に入ることが重要!!

なにものにも代えがたい、永遠の命

■ マタイ16:24~26

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。

自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるのでしょうか。そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか。」

II. 離縁

マタイ5章30～32節

ガリラヤ湖畔

訓戒 離縁状 マタイ5:31

また『妻を離縁する者は離縁状を与えよ*』と言われていました。

*申命記24:1

「人が妻をめとり夫となった後で、もし、妻に何か恥ずべきこと*を見つけたために気に入らなくなり、離縁状を書いてその女の手渡し、彼女を家から去らせ、」

*この解釈を巡る論争があった

…極端な拡大解釈も(ヒレル派)



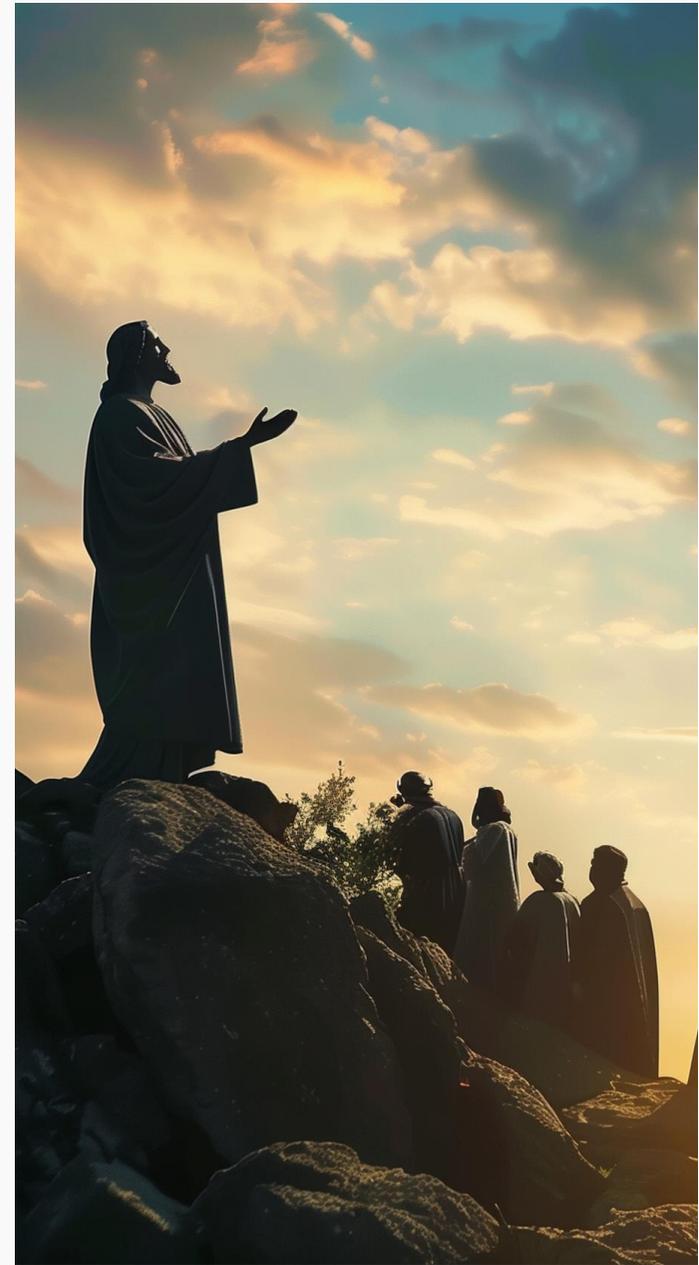
訓戒 淫らな行い マタイ5:32

しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも、淫らな行い*以外の理由で自分の妻を離縁する者は、妻に姦淫を犯させることになります。また、離縁された女と結婚すれば、姦淫を犯すことになる*のです。

* 離縁が認められる唯一の理由 = 姦淫

* 祭司に対する離縁の規定 レビ記21:7

「彼らは淫行で汚れている女を妻としてはならない。また夫から離縁された女を妻としてはならない。祭司は神に対して聖だからである。」





III. 靈的姦淫

ガリラヤ湖畔

イスラエルの靈的姦淫

「【神】である主はこう言われる。あなたは愛人たちや忌み嫌うべき偶像と姦淫をして、自分の恥ずかしいところを見せ、自分の裸をあらわにし、それらに自分の子を献げて血を流したのだ。

エゼキエル 16:36」

■ イスラエルに滅びをもたらした、偶像礼拝 = 靈的姦淫

■ 「姦淫」は、多くの場合、偶像礼拝を指して使用

性的姦淫より深刻な罪は、靈的姦淫・偶像礼拝

イスラエルが重ねた靈的姦淫

「『悪い、姦淫の時代*はしるしを求めます。しかし、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。』こうしてイエスは彼らを残して去って行かれた。マタイ 16:4」

*イスラエルが、公式にメシアを拒絶して以降(マタイ12:24)
→公的な奇跡は限定。ラザロの蘇生。

■今の「恵みの時代」は、「悪い、姦淫の時代」でもある。
→この時代の恵みは、イエスをメシアとして受け入れること

イスラエルはメシアを拒み、決定的な靈的姦淫を犯した

教会を姦淫に誘う者

■ ティアティラの教会への勧告 黙示録2:20~21

「けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは、あの女、イゼベルをなすがままにさせている。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて惑わし、**淫らなことを行わせ**、偶像に献げた物を食べさせている。

わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は淫らな行いを悔い改めようとしない。」

■ この時代にも**霊的姦淫**がはびこる。 ➡**究極が艱難期**

靈的姦淫の最終的な裁き

「だれでも、このような姦淫と罪の時代にあって、わたしとわたしのことばを恥じるなら、人の子も、父の栄光を帯びて聖なる御使いたちとともに来るとき、その人を恥じます。マルコ 8:38」

- 姦淫と罪の時代の救いは、主イエスの福音にある。
- 再臨のメシアが、姦淫と罪の中にあるすべての人を裁く

主を拒み通した者は、主に永遠に拒まれる

偶像礼拝と姦淫

- 偶像礼拝は、**靈的姦淫**。
姦淫は多くの場合、偶像礼拝に対して用いられている。
- 偶像礼拝 (**靈的姦淫**) と **性的姦淫** は根を同じくするもの。
- **性的姦淫** → 夫、妻を裏切る
靈的姦淫 → 主を裏切る
(イスラエルは、ヤハウエの妻)
(クリスチャンは、キリストの花嫁)

姦淫が破壊する、二つの夫婦関係

①夫、妻との関係

- ➔結婚は、主の業。夫婦間の姦淫も主への背信
「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。創世記2:24」

②神との関係

- ➔イスラエルは、ヤハウエの妻
クリスチャンは、キリストの花嫁。

人の結婚は影 神と結ばれることこそ、真の結婚

姦淫の末路は滅び

- 性的姦淫には、死罪が定められていた。(レビ20:10)
- 靈的姦淫の末路は、永遠の滅び(マルコ8:38)
- 人は、創造主である神にこそ結びつけられるべき存在。

罪により神と断絶 → 姦淫の状態

姦淫の滅びからの救いは、メシアにしかない!!



IV. まとめと適用

キリストの花嫁として

人類とイスラエルが重ねてきた姦淫

- アダムとエバの墮罪以降、人は姦淫の罪を重ねてきた。
性的姦淫と、靈的姦淫を。
- 神の民イスラエルの王国すら、姦淫の末に滅んだ。
- メシアを拒み、イスラエルは決定的な靈的姦淫を犯した。
- しかし、主イエスが、花婿として来られた。
私たちすべての罪人を、花嫁として招き入れるために。

■ エゼキエル16:6

わたしがあなたのそばを通りかかったとき、あなたが自分の血の中でもがいているのを見て、わたしは血に染まったあなたに「生きよ」と言い、血に染まったあなたに、繰り返して「生きよ」と言った。

主に育て上げられたイスラエルは、靈的姦淫に!!

■ エゼキエル16:36～37

【神】である主はこう言われる。あなたは愛人たちや忌み嫌うべき偶像と姦淫をして、自分の恥ずかしいところを見せ、自分の裸をあらわにし、それらに自分の子を献げて血を流したのだ。

それゆえ、見よ。わたしは今、あなたが戯れたすべての愛人たちや、あなたが恋した者や、憎んだ者をすべて寄せ集め、彼らを四方から集めて、あなたの裸を彼らにさらけ出す。彼らは丸裸のあなたを見る。

イスラエルを待ち構えるのは究極の裁き・大艱難

イスラエル

イスラエルは、再びヤハウエの妻とされる

■エゼキエル16:60,62~63

だが、わたしは、あなたが**若かった日々**にあなたと結んだ**契約**を覚えて、あなたと**永遠の契約**を立てる。

わたしが**あなたとの契約**を新たにするとき、あなたは、わたしが【主】であることを知る。

こうして、わたしが、あなたの行ったすべてのことについてあなたを赦すとき、あなたはそれらを思い出して恥を見、もう自分の恥辱のために口を開くことはない——【神】である主のことば。』」

イスラエルはメシアを信じ、永遠に神の民とされる

教会 【義認】 主イエス・キリストの花嫁とされた

「イエスは彼らに言われた。「花婿に付き添う友人たちは、花婿と一緒にいる間、悲しむことができるでしょうか。しかし、彼らから花婿が取り去られる日が来ます。そのときには断食をします。マタイ9:15」

- 花婿として来られた主イエスは、花嫁となるべき私たちを、罪と汚れからきよめるため、十字架で死なれ、葬られ、復活された。

主イエスの福音を信じて、キリストの花嫁とされる

教会 【聖化】 キリストの花嫁としてきよめられていく

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。

キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。エペソ5:25～27」

■ 愛の実践を通し、花嫁にふさわしくきよめられていく。

また私は、大群衆の声のような、大水のとどろきのよう
な、激しい雷鳴のようなものがこう言うのを聞いた。

「ハレルヤ。私たちの神である主、全能者が王となられ
た。私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の
婚礼の時が来て、**花嫁**は用意ができたのだから。

花嫁は、輝くきよい亜麻布をまとうことが許された。そ
の亜麻布とは、聖徒たちの正しい行いである。黙19:6～8」

■ 栄光の体を与えられ、キリストの花嫁として婚礼に!!

姦淫と離縁からの二つの回復の道

- **イスラエル**は、姦淫の末に裁かれ、国を滅ぼされた。偶像礼拝を重ね、花婿であるメシアを拒絶して。しかし、世の終わりの艱難の末、回心して救われる。
- **福音を信じた者**は、キリストの花嫁とされている。キリストの花嫁はただ一人、**主の御体なる教会**だ。

愛の実践と聖霊の助けの内に、きよめられつつ世を歩み、花婿イエスに招かれ、栄光の体で婚礼を迎える。

★ キリストの花嫁として ★

- 心の中まで問われれば、絶望するしかないのが私たち。そんな私のために、主イエスは十字架で血を流された。
- 福音を信じてキリストの花嫁とされた、私たち。愛を実践して歩むなら、聖霊が助け、きよめられていく。
- 花婿イエスに招かれる婚礼の瞬間まで、福音を伝え、主を証し、遣わされよう。花嫁となるべきが待っている。

キリストの花嫁としての自覚を持って遣わされよう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

わたしは、主の御体なる教会とされ、キリストの花嫁とされました。

愛を実践する者として世に遣わされ、兄弟姉妹と共に愛を育みます。

聖霊の助けの内に、花嫁にふさわしく、この身をきよめてください。

私が救いを祈るこの人と、共に婚礼に招かれますように。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」